

教育だより

福井小学校

☆入学おめでとう！



井手上 漠 (福井)



磯谷 和摩 (菱浦)



澤井かのか (菱浦)



岡本亜矢子 (菱浦)



浮田 彩絵 (宇受賀)



藤田みこと (菱浦)



真野 優太 (福井)

福井小学校
7名入学

教育目標

豊かな心を育み、
最後までやりぬく、
主体的な児童の育成

- ◆ (豊かな心) 思いやりのある子
- ◆ (主体的な児童) 進んで学ぶ子
- ◆ (やりぬく意志) 強くたくましい子

児童数65名・保護者数44名

◆新任教員紹介◆



和泉 清子

西郷小学校から帰って参りました。大人数のパワーに目から鱗(うろこ)のような3年間の勤務を終え、久しぶりの海士町勤務です。変わらぬ懐かしさを感じています。これから海士の子どもたちのために、私にできることを果たしていきたいと思います。よろしくお願ひします。



福山 弘子

2年ぶりに海士町で勤務させていただくことになりました。今度は小学校です。福井小学校勤務は、数えてみると10年ぶりでした。



井上 耕作

久しぶりの母校は、今、校庭の桜が満開です。懐かしい桜並木を見ながら、「諏訪の入り江の潮風を受けて」学校に通うことのできる喜びを感じています。子どもたちが元気に楽しく学校に通うことができると思いますので、よろしくお願ひいたします。



藤原 良平

この4月から福井小学校で勤務することになりました。自然豊かなこの海士町で子どもたちとの学校生活をおくることに、毎日ドキドキ、ワクワクしています。この海士町で色々な経験をして、子どもたちとともに自分自身も少しずつ成長していきたいと思っています。よろしくお願ひします。



吉山 美恵子

この度の異動で西郷中学校から福井小学校へ参りました。養護教諭の吉山美恵子です。海士のすばらしい自然の中で、心身ともに健康な子どもの成長のために頑張りたいと思います。そして海士での生活を

家族みんなで満喫したいと思つていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

海士小学校

海士小学校
1名入学

☆入学おめでとう!



お村尾 たかとも 天智 (宇受賀)

教育目標

- ◆自ら学び、互いに認め合い心身ともにたくましく海士の子を育てる。
 - ◆考える子
 - ◆助け合う子
 - ◆元気な子
- 児童数42名・保護者数29名

◆新任教員紹介◆



たなか よしと 義人 (校長)

旧都万村出身、農家の8人兄弟の末っ子で54歳です。島前勤務は3回目ですが、海士町は初めてです。7年間社会教育に携わり、海士町の方々にはいろいろとお世話になりました。10年前の松島7日間キャンプも貴重な経験でした。教育レベルの高い海士町で仕事ができることは楽しみです。よろしくお願ひします。



の じゆんこ 矢野 純子

浦郷小学校から転任してきました。4年前に大阪の小学校を早期退職して「自然豊かな島の学校」に憧れて隠岐にIターンしてきました。移住して2年間、特別養護老人ホームみゆき荘デイサービス

タツフとして、勤務させてもらいました。2年前に夢が叶って「浦郷小学校」に赴任できました。4年間、とても楽しかったです。海士町は、7年前からキンニャモニャパレードに参加してきたので、踊りの好きな私は今からワクワクしています。花がいっぱい出迎えてくれた海士小で、どんな素晴らしいドラマが始まるのか楽しみにしています。



おおつ かずふみ 大津 和史

この度、松江市立宍道小学校より赴任して参りました。生まれは隠岐の島後なので、久しぶりに隠岐に帰ってきてとても懐かしく感じていますが、海士は初めて来ましたが、自然も多く、海士町の良さを毎日実感しているところで、まだまだわからないことばかりですが精一杯がんばりたいこうと思ひますのでよろしくお願ひします。



うの みずえ 宇野 瑞枝

昨年12月まで福井小学校でお世話になっていました。この4月より海士小学校でお世話になります。海士町の殆どの小学生の顔がわかるようになります。更に頑張りたいと思ひます。宜しくお願ひいたします。



むらお ゆみ 村尾 由美子

この春より、海士小学校に事務員として勤務することになりました。神奈川から引越してきてきたばかりで、まだ落ち着きませんが、皆さんに親切にしてください、元気に過ごしています。小学校の仕事を通じて、海士町の歴史や文化を学び、町の皆さんと海士町を盛りたてていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

海士中学校

教育目標

- 「21世紀を心豊かにたくましく生きる人間の育成」
 - ・かしこく(進取・自学)
 - ・やさしく(友愛・感謝)
 - ・たくましく(健康・自立)
 - ・人のために(協力・勤労)
- 生徒数57名・保護者数49名

◆新任教員紹介◆



ふるた みほ 古田 美保

この春から海士中学校に赴任して参りました。初めて海士町に来てまだまだ慣れないことばかりですが、皆さんの優しさと温かさにふれ充実した日々を過ごしています。英語を通じて、自分の良さ、海士町の良さを世界に発信できる生徒を育てていきたいと考

えています。一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



まつもと よしのり
松本 佳徳

この度、海士中学校に勤務することになりました。海士で暮らし始めたばかりで不安なことも多いのですが、声をかけていただくことや親切にしてくださいとすることがあり、とてもうれしく思っています。まだまだ未熟な私ですが、子どもたちと共に学び、成長していきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。



うちだ ゆうこ
内田 裕子

この春大学を卒業し、海士中学校に養護助教諭として着任いたしました。大学は岡山、

出身は松江です。海士町は今、とても勢いのある自治体ということで、期待を胸に抱いてまいりました。この自然豊かなすばらしい環境の中で、新時代を担う子どもたちの健康のために精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



よしだ たもつ
吉田 保

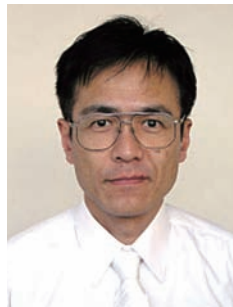
この度、西ノ島町立美田小学校より海士中学校に転任して参りました。海士町勤務、西ノ島からの船通い、中学校勤務、すべてが初めてで戸惑うことばかりですが、海士町のすばらしい環境の中で、子どもたちのために一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

隠岐島前高校

教育目標

- 1、主体的、意欲的に行動する人間の育成
 - 2、広い社会的視野を持ち、社会に貢献する人間の育成
 - 3、情操豊かで他人を思いやる人間の育成
 - 4、心身ともに健康な人間の育成
- 生徒数91名・PTA数84名

◆新任教員紹介◆



よしだ しょうじ
吉田 彰二

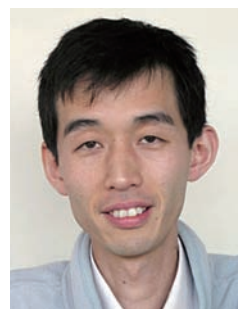
このたび隠岐島前高校に勤務することになりました吉田彰二です。出身は出雲市です。旅行も含め隠岐は初めてですが、笑顔で接してくださる海士町の方々に迎えられ、ほっ

今、美しい自然と優しくパワーのある皆様に驚いています。私も高校の活性化に少しでも貢献できればと思っています。趣味は、釣り・山歩き・野菜作りなど、とにかく自然の中で体を動かすことです。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



やまお ひろし
山尾 宏

お世話になります。島前高校に赴任して参りました山尾宏です。担当は情報Aと商業科目です。海士町の人情味溢れる方々とのふれあいや素晴らしい環境の中で生活できることに期待しています。島前高校の生徒たちのために一生懸命頑張りたいと思います。また、様々な面で海士町の皆様のお役に立てることがあれば幸いです。



おおはた しげお
大畠 成夫

隠岐島前高校の大畠と申します。生まれも育ちも大阪ですが、縁あって5年前に松江に赴任し、今回は海士に単身赴任ということで、今は不安と期待が入り交じった複雑な気持ちです。趣味は将棋と泳ぐことと韓国朝鮮語です。また、久しぶりに釣り竿を取り出しました。楽しみを見つけ、島で仕事に遊びに充実した日々を送りたいと考えております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



いわたもと ゆう 悠 岩

4月から島前高校魅力化プロジェクトの事務局として、島前高校に來させて頂きました岩本悠です。英語、進路指導、地域交流部にも関わることで、非常にやりがいを感じています。一生懸命がんばりますので、厳しいご指導をどうぞ宜しくお願いいたします。

海士町教育委員会の方針

海士町教育委員会は今年度より、新たに「地域共育課」を設置し、学校教育部門と社会教育部門を明確にし、それぞれが役割を自覚しながら、連携して「人間力溢れる人づくり」を目指します。以下に今年度の目標を示します。

【学校教育課】(学校教育)

保育園・島前高校、家庭、地域の連携を深めながら、ふるさとを愛し、未来を切り拓く「人間力」溢れる子どもを育てていきます。

①人間力を育む学校教育の推進

②保一高・家庭・地域の連携教育の推進

③魅力ある島前高校づくりの推進

【地域共育課】(社会教育)

「共に育て・共に育つ」という精神のもと、地域に目を向け、絆を強固なものにしていきます。そのため、人・自然・歴史とのふれあいを通じ、ふるさと愛を育みながら、地

域力醸成を目指します。

①持続可能な自立したまちづくりと学習グループの支援

②地域内外の交流を活かしたふるさと環境活動の推進

③地域文化を継承し、人間関係の潤いにつながる文化活動の推進

④健康づくりの土台となる生涯スポーツの推進

⑤一人一人の人権を尊重する教育の推進

人間力推進プロジェクト

平成17年度に発足し、島内外の交流を中心に事業を行ってきましたが、今年度も引き続き役場内の連携を図り、持続可能な地域社会の実現に向け取り組みます。

今年度の重点テーマは、次のとおりです。

- ①島前高校の魅力化
- ②島内外の交流
- ③環境の意識啓発

取り組み状況等については、随時情報発信をいたします。今年度もご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

海士中学校エコ改修・竣工

新しい校舎が完成しました！



3月15日(日)、海士中学校エコ改修工事の竣工式を行いました。当日は、中学生、教職員、設計者、施工業者の方、検討会にご参加頂いた方、地域の方など約150名が集まりました。安全祈願祭をした後、スライドにより報告会を行い、中学生が改修案を提案したり、学園祭などを通して地域に環境のことを発信してきたことなど、2年間の取り組みを振り返りました。

この式典で、多くの方のご協力のおかげで校舎ができたことを改めて感じました。これからは、環境教育や環境活動を充実させ、海士中を拠点に環境への関心を町全体に広げていきたいと思えます。校舎には、断熱やエコガラス、太陽光発電など環境に配慮した様々な工夫がされています。見学をしたい場合は、教育委員会までご連絡ください。(担当・井上 TEL 2・1221)

「島まるごと」図書館 だより

平成19年度より図書館事業をスタートさせ、中でも学校図書館の充実に重点的に取り組み、各学校図書館で少しずつ成果がみられるようになりました。

その中で、海士小学校による「学校まるごと図書館構想」の取り組みが評価され、平成20年度読書活動優秀実践校として、文部科学省より全国表彰を受けました。

「学校まるごと図書館構想」では、児童の読書活動の活性化に向け、人的環境、物的環境を関連させた読書環境の整備、児童の読書意欲の向上と読書習慣の定着に向けた総合的な取り組みを目指し、

- ① 図書館づくり
- ② 授業づくり
- ③ 人材を活かすこと

これら全校を挙げた取り組みを受け、図書館への来館者数も激増し、本の貸出し数も前年度の7倍になるなど、児童の読書への興味・関心が

着実に高まってきているようです。

学校支援地域本部 だより

聞きなれない名称でしょうが、今年度から本格的にスタートしました。学校支援地域本部は、学校からの依頼に基づき教育支援や、子どもと大人が一緒に活動を行

い、子どもが豊かに成長すること

● 大人も子どもからパワーをもらって更に元気な海士町になること
をお手伝いします。

★今年度の予定★

① 日食の観測会（7月22日）

今年、何十年ぶりという皆既日食があります。太陽が欠けていくという珍しい現象が、特別のフィルムで見られますので是非ご参加ください。

② 本のフェスティバル(仮称)

日食観測会に合わせて同じ日に同じ場所で行います。本がいつばいの楽しい催しを検

討中です。

③ 海士町ふるさと検定

昨年子ども議会でも小学生が提案したものです。問題の作成は、子どもの目線から歴史の価値のあることまで、誰もが参加して楽しめる、多彩な出題ができるようにと考えています。どうぞ作成委員にご応募ください。

その他にも、学校への側面的な支援や大人と子どもで行う魅力いっぱいメニューを、地域の人が中核となって考えていきます。自然体験やスポーツイベント等々、皆さんのアイデアをお寄せください。

【連絡先】 学校支援地域本部 (教育委員会内)

担当：宮崎 Tel 2・12221

江戸時代の古文書を 楽しく学びませんか

第一回 古文書講座
日時 6月5日19時から
場所 海士町中央公民館
年会費は6千円ですが、初回は体験聴講が可能ですので、お気軽にご参加下さい。
お問い合わせは(教育委員会内)
担当：花房まで
Tel 2・12222

豊田のホーラエンヤ



ふるさと講座 シリーズ ⑩

神の鉢巻を締め、だいなしという紺色無地の筒袖の着物を着た若者が乗り込みます。

間もなく松江市で「ホーラエンヤ」が行われますが、豊田地区にも「ホーラエンヤ」が伝わっています。豊田にある美保神社は、嘉永五年(西暦一八四八)に創建されたといわれ、祭礼は雛の節句、旧暦三月三日とされてきました。この日にあたる3月29日、6年ぶりに御旅が斎行され、伝統行事ホーラエンヤの船渡御が行われました。神事のあと、先払い舞や獅子舞が神前で奉納され、御旅の一行は神や椿の枝で囲った神輿を乗せる御船に乗船します。曳き船である前方の舟は、舟方と呼ばれ、化粧して美保大明

神の鉢巻を締め、だいなしという紺色無地の筒袖の着物を着た若者が乗り込みます。へやサホーイサーホーラエンヤのサノサーエヤホーエンヤと、掛け声も勇ましく漕いで、御船を曳きながら港を一廻りします。そして、御船が着岸してからは地下内を巡る御旅の道中となりますが、舟方を勤め、派手な女物の長襦袢姿で、今度は大きな竹のササラを打って、祝い唄の「イッチャ節」を歌い踊りながら御旅の道中に加わります。唄は一般によく歌われるへめでためだの若松様よ、枝も栄えて葉も繁る等の祝い唄の歌詞ですが、囃子言葉は、崎地区の十日恵比須の伝統行事であった「だんじり」のあと、若者が山車に飾った神(稚の枝の場合も)を手に採って、親方などの家々を巡り歌い踊った「ハライツチャ」とよく似ています。(隠岐の祭礼を参照)

上方各地区での十日恵比須の賑わいや崎の「だんじり」、菱浦の十日恵比須等、漁業の神様である「エビスさんの祭り」の中で、珍しい行事が残っていることに海士の地域性がうかがわれます。

文化財保護審議委員 榊原信也